



2月2日 低学年かるた大会 アッ！見つけたぞ！！



しでがの通信
 第 95 号
 羽津小 P・T・A
 編集発行
 発行所 羽津小学校

として保存して下さい

「よりよい教育環境」を目標にこの一年取り組んでまいりました。念願の運動場整備も皆様方の御協力御援助のもとに、立派に成され今日子供達は、「はだしの教育」の実施をみる事が出来ました。来年度は、文部省より体力づくり推進校としての指定をも受けております。体育、スポーツを通して親子、教師と生徒、家庭と学校、地域のつながりが増々強化されます事を念願致します。又全町に於ける町別懇談会の中で、皆様方の積極的な御意見を聞く機会を得ました事を感謝致します。御要望の中で実施出来るものは、すでに実行させて戴きました。講演会行事の中で、子供達の作品展とPTA活動のPRをさせて頂きました。今後もっとたくさんの子供達の作

品、御父兄の作品展示等、文化祭的なものにして行きたく思っております。一年を振り返り、種々な行事の中での反省を来年度の糧と致し度く思います。今後共会員皆様方の積極的な御参加、御意見、御要望を御願ひ致し度く思います。少ない紙面の中、全てをいいつくせませんが、各部の活動が、会員皆様方の多数の参加のもとに、活発に、有意義に行えました事を、担当役員様、会員皆様方、又学校当局に於かれましては、新校長、新教頭先生のもとに諸先生方の、多大な御指導を戴きました事を心より厚く御礼申し上げます。最後に、羽津小学校の永々たる御発展と、会員皆様方の増々の御健勝を祈念し、御礼の言葉に代えさせて頂きます。

一歩進んだPTA

PTA会長 鬼頭 洋二

次	一歩進んだPTA	1
	卒業にあたって	2
	卒業記念品の贈呈について	2
	PTA保険団体からの報告	2
目	語りの世界 (シリーズ 五)	3
	あなたが主役	4

卒業にあたって

記念樹とともに

羽田純子

六年前の春、入学式の日、庭に記念樹として、ドウダンツツジを植えました。桜や松木のように目に見えて大きく成長する木ではなく、大空に向かって枝葉を広げる事もない落葉低木ですから、子供の成長を願う記念樹としてはふさわしくない気もしました。

しかし、一年生の子供の腕でひとかかえられた木も、今は六年生の彼の腕の一ひろほどに成長しました。春には無数の小さな白い童状の花をつけ、夏、淡緑色の若葉からこぼれ落ちる光は美しく、庭のその辺り一面を明るくします。秋には深紅色に紅葉し、冬、落葉します。落葉樹は、葉を落とす事によって、冬の短い乏しい太陽の光をその木の下、周囲の他の植物、小動物達にも分け与えるのだという自然の摂理にも、健気さと優しさを感じて、心があたたまります。

庭の南側の日の良く当たる場所に植えたこの木が、六年経た今ではむしろ、息子にはふさわしい木だったのだと思います。

中学の学生服を着る頃には、またすずらんのような白い花がいくつもいくつも開くことでしょう。それを楽しみにかけています。

翔び立つ子供達よ

西山浩子

いつまでも入学頃の積りでいましたが、はや、六年が過ぎようとしております。振り返ってみますと、入学式当日、緊張の中、担任の先生に名前を呼ばれただけでジーンと目頭が熱くなったり、運動会での元気を姿に手が痛くなる程応援したことなど、いろいろな懐しい思い出も沢山できました。

が、時として壁にぶつかったり、重荷に感じたり、揺れ動くことも度々ありました。でも今にして思うと、そんな情けない思い出も時が経つと懐しく思われる気持ちに変わるのですから不思議なものです。

逃げ腰スタイルにならないで正面からぶつかって解決するように、そうありたいと意識しています。近づきたいながらも、それぞれ個性豊かな先生方に恵まれての六年間でした。又多くの友達との交わりの中で親子共々育てられてきたことにも感謝しています。大した不幸もなく卒業を迎えられることを素直に幸せに感じてます。中学生になれば大人になる為の「生きる力」をつける時期だそうですね。多くの友の中で、人間を鍛えながら、クラブ活動を通して、心身共にたくましく成長してくれることを期待しています。

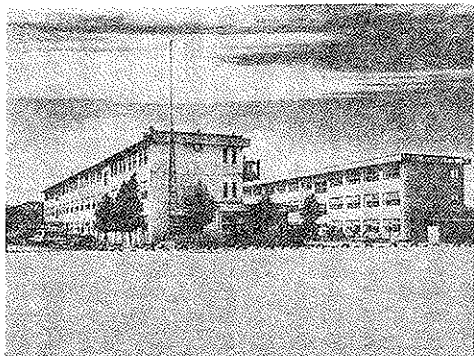
贈呈について

六年学年代表 伊藤日出男

卒業記念品贈呈について報告させていただきます。

本件を実施するにつきましたはご父兄の皆様方の心暖まるご協力を戴き、ありがとうございます。皆さまのご厚意をどの様な形で残すか関係者の皆さんと相談しました結果、耐用年数の長い、体育館壇上に置く木製の「ひなだん」を卒業記念品として学校へ贈呈致しました。ご父兄の皆様のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。

整備された運動場で
思いっきり遊んでほしい



PTA保険団体

からの報告

理事長 岩田和夫

保険団体加入各位様、保険代表保険委員各位様、一年間大変お世話になり、ありがとうございます。誠に様で、本年度は、数年来切望されておりました運動場整備の完了。その他、学校施設の補助等、多方面にわたり利用させて頂く事が出来ました。これも皆様方のお力添えと厚く御礼申し上げます。尚、今後共、皆様方の御理解、御協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

シリーズ(五)

語りの世界

教頭 池田 昭



昔話が語りじつさ(じいさん)や、語りばつさ(ばあさん)によって語られる時には、地方によって違っていますが、語り手と聞き手の間に形式的な約束がありません。最初「昔、あったそうですよ」と断ることにより、語り手が聞き手を、まず、現実からふしぎな世界へ誘ってくれる合図です。もとは「昔から語り伝えられたまを語ります」という誓いをこめた意味もあつたようです。しばらくの間、現実の生活から脱け出て他の人生を見せてくれる始まりの言葉だったと考えられております。次に、話の「発端の言葉」があります。そして、語りの途中では、聞き手側の「合の手・あいづち」があつて、話の結びには「結末を告げる言葉」があるのが普通です。いくつかの用例をあげて昔話の約束を紹介しましょう。

① 開始の言葉：昔話の開始に先だつ挨拶の言葉

「とんとある話、あつたか左かつたか知らねども、昔のことなれば無かつたこともあつたとして聞かねばならぬ。」(鹿兒島)

② 発端の言葉：昔話とつてなく

「さて昔ある時にい」
「昔の昔のその昔、ずつと昔の大昔」
「どんな園だか、どんな場所だ

か、どんな村だか、またどんな池だか、わしは知らないが、一人の貧しい男やもめが住んでおつた。」
これは「昔むかし」という各地共通の言い方を具体的に記したわけですが、聞き手を遠い時代と場所へ誘って、夢の世界に遊ばせるために使われたのでしよう。昔話は伝説と異なり、時代・場所・人物を規定しないので、どこへでも移動します。各地方によく似た話があるのはそのためです。

③ 結末を告げる言葉：

本来は一つの虚構の世界の終了を宣言する挨拶だったのではありません、次から次へと昔話をねだる子供たちに対して「はい、これでおしまいですよ」という意味をこめて言われるようになります。ですから、各地にはいろいろと愉快なものがあります。

「むかしむつこ猿まっこ、猿のけつはまっかいしよ。」(大分)

「むかしぼつこり、ごぼりの葉、あえて食つたらりまかつた。」(鳥取)

「どんびん、三助、猿まをく、猿のけつつさ、ごぼり焼いてぶつつける。」(山形)

「いつちごさつけえ、どつべん、甘酒わいたら飲んどくれ、漬菜がしよんだら飲んでくれ(新潟)」
④ 合の手・あいづちの言葉
昔話は語りの文芸ですから、語

り手と聞き手との呼吸が合っていればいるほどに夢幻の世界に入りこむことができます。あいづちをうつことで、登場人物を加えた三者の気持ちに密着するわけですね。

「はーりゃーはーと(岩手)」
「へんとこさ・ふんとこさ(群馬)」
「ほーん(京都)」
「ふうん(長野)」
「へえん・そうかを(山梨)」

さて、あんたはどんな言葉で始め、発端を語り、どう言つて終わりを告げなさるか。



ふしぎなことがあつたまの世、くよくよしない世界、得た富をひとりじめにしない世界、美しい心の持主がバカを見ない世界、これが民話の世界です。お年寄が孫に、親が子に語り、そこに親として人間として語り、思ひいられないものがあるように思ひます。だから語り手と聞き手の間にへたりのない真に心をわつたつなかりが深められていくのだと思ひます。

民話の底を流れる「まごころ」
「ふる里のこころ」を子や孫ばかりでなく、一人でも多く人たちに伝えるのが、私の仕事であろうと思つております。

あなたが生役

活動を終えて

補導部

部長 小井巨員

皆様の御協力で無事活動を終える事が出来ました事をお礼申し上げます。

活動の中で時々子供達へ何んでもない言葉投げかけますと元氣な返事があります。たったひとことでの心の窓が開く様を感じています。ご家庭又地域におかれてもちよっと一言子供達に、声をかける事により、明るい町づくりの一端になるのではと思えます。今後共、子供達をきびしく又暖かく見守っていただきます様よろしくお願い申し上げます。

安全部

人見直宏

五十九年度の安全部の行事も早や一年がたち皆さまのご協力によって無事終えることができました。一年間の主な行事を次のとおり報告させていただきます。

- 交通安全の実施
- 危険個所の点検

母親部

赤坂早苗

一、U字溝のフタ取付け
二、焼却炉の灰処理(四回)
以上の行事を終える事が出来ました事は、諸先生はじめ本部役員並びに部員の方々、会員の皆様方のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

福祉保健部

藤井昭彦

(本年度は立札を五ヶ所設置)
○ 夏休み中のプール監視
次に安全部の新しい事項として交通少年団をもち、実施しました。又立札のあり方が検討の話題になった年でございます。

五月 親善ソフトボール大会
参加者 57名

七月 救急実技講習会
参加者 40名

九月 運動会にPTA参加
十一月 社会見学
参加者 40名

多数の参加と協力を頂き、無事一年を終える事ができました。ありがとうございました。

環境整備部

森 新英

年度末にあたり、年間活動をふりかえってみたいと思えます。

- 一、校庭築山の補修作業
- 二、樹木の消毒
- 三、PTA全員奉仕作業

学年学級部

広瀬達士

母親同志のふれ合いの場として、手芸教室、料理教室、教頭先生を囲んでの民話の集いに、多数の御参加、御協力いただきありがとうございます。一年間の行事を無事終えることができましたのも本部役員、諸先生方、PTA会員の皆様のお蔭と心から感謝しております。いろんな面で勉強させていただきたい出深い一年となりました。どうも有難うございました。

五月の給食試食会をはじめに各学年行事、そして、十一月の講演会と行事も全て終了しました。金津先生の「思いやりの心を育てる」と題してのすばらしい講演会そして、ゲーム、ミニ運動会等楽しい親子のふれあいの各学年行事も無事過すことができました。これもひとえに、諸先生方、会員皆様の御協力の賜と心より深く感謝

広報部

井上キヨ子

謝し、厚くお礼申し上げます。

広報部、一見かた苦しうな部のようにですが、部員みんなつらくわず和気合いあいの中での「広報紙」づくりだったようです。学校と家庭を結びパイプ役として「しでの」を年間計画通り、五回発行し、市P連広報紙展参加初めての試みとして、両親学級当日の写真展、広報紙展を催しました。が、いづれも好評を得ました事は、会員皆様のご協力のたまものと感謝しております。又原稿をお寄せ下さいました方々に、この紙面をおかりして、厚く御礼申し上げます。

編集委員

- T 的屋 依子 田中 朋子
- P 細谷 京子 藤井三枝子
- 安田枝美子 内田 文子
- 広瀬 洋子 森井 幸子
- 飯田 敦子 山口千代子
- 森 朱美 福永 宏美
- 山口 芳子 中久木喜久子
- 井上キヨ子